

# 平成28年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

平成28年4月13日

発行：岩手県水産技術センター  
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
 関係漁業協同組合



小型ラーバは増加傾向、稚貝の付着はまだ見られない。水温は高めで推移しています。

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は、9.1℃で前回調査に引き続きかなり高めで、透明度は10mでした。
- 200μm未満の小型ラーバがやや増加し、200μm以上の大型ラーバも1個確認されました。
- 試験採苗器への稚貝の付着はまだみられませんでした。
- 水温は高めで推移していますので、採苗器の投入適期は例年よりも早まると予想されますので、今後のラーバの出現状況に注意し、採苗器投入の準備を進めてください。

## < 陸奥湾の状況（4月7日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >

東湾では採苗器投入の指示が出て、西湾では採苗器投入の完了が来週となる見込みです。

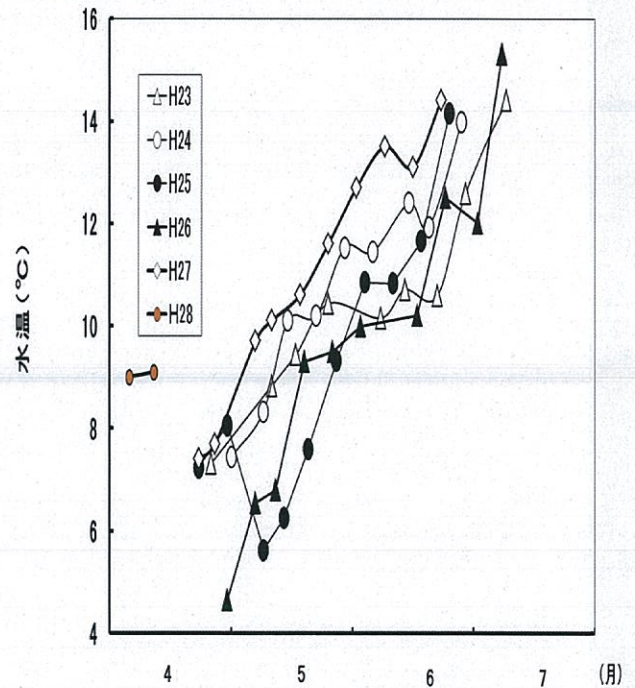
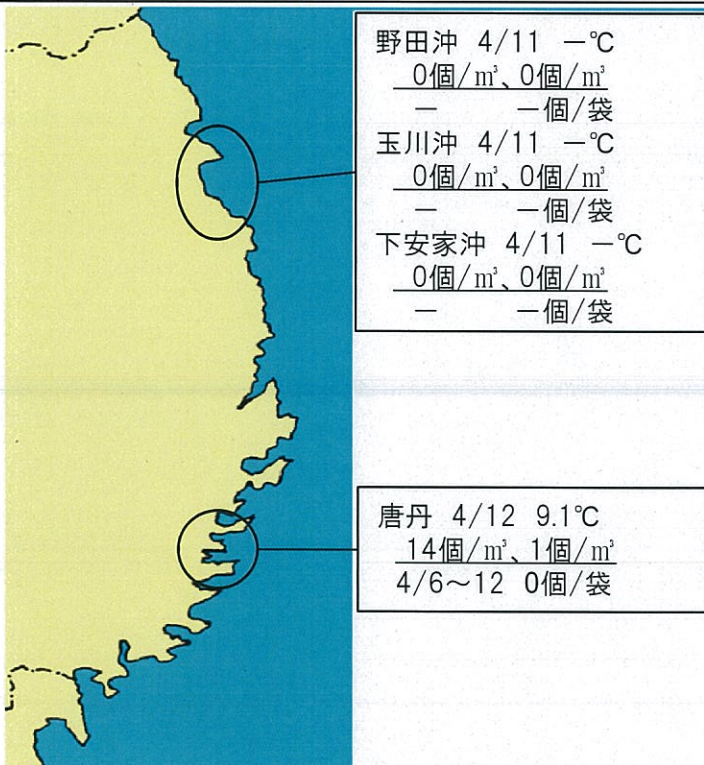


図1 唐丹湾における水深10m層の水温

図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温  
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、4月19日に発行する予定です。